



先生を目指すみなさんへ



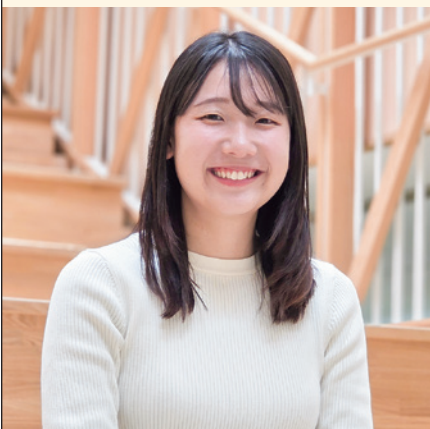
山手 大輝 教諭

先生になろうと思ったきっかけ

最初から先生を目指していたわけではなかったです。高校時代にスイミングスクールでコーチのアルバイトを経験し、子どもたちの成長に寄り添う中で、先生という仕事の魅力に気づきました。中でも小学校の先生ならよりたくさん成長の瞬間に出会えると感じ、目指すようになりました。

職場の雰囲気

職場はとても温かい雰囲気です。1年目で分からないことばかりなので、「まずは聞くことが大切」と考え、何でも質問していますが、みなさん優しく丁寧に教えてくれます。研修にも声をかけてもらい、一緒に参加させてもらうこともありました。



奥村 彩夏 教諭

子どもたちと過ごしていて楽しい時間

授業をしていて「分かった!」と子どもたちの表情が輝く瞬間がとても好きです。子どもたちの反応を考えながら準備してきたことで、できるようになった時は本当にやりがいを感じます。1学期にできなかったことが2学期にできるようになる、そんな成長を感じる瞬間がとても楽しいです。

お勧めの教採対策

面接については、途切れずに話すことを意識していました。いろいろな質問を想定して、どの質問に対しても30秒ほどで答えられるように考え、話す練習をしました。また自分が話したことを録音して聞き返すことで、話す力を鍛え、整理してまとめて伝える力も身につきました。



小野 真優 教諭

先生ってこんなこともしていたんだ

子どもの頃、チャイムってどうやって変えているんだろうと思っていました。先生になり、現在の学校でチャイムを管理する担当になりました。時間割変更があるたびに、1つ1つ細かな設定を手動で変えていると初めて知った時は驚きました。

先生という仕事の魅力

先生という仕事は、最近、周りの目も厳しくマイナスの印象を持たれがちですが、子どもたちと過ごす時間はそれ以上に楽しく、嬉しい瞬間が多いです。授業で見せる子どもたちの素直な反応や、行事を重ねる中でクラスの団結が深まっていく瞬間と一緒に過ごせる、本当に素敵な仕事だと感じます。



先生になってよかった瞬間

授業の振り返りのコメントに「先生のおかげで社会がすぎになった」「先生のクラスでよかった」と書いてくれることがあります。生徒がどうすれば楽しく学習に向き合えるか、毎日考えている授業が、生徒にちゃんと届いていたと感じる瞬間です。生徒からの思いがけない言葉の贈り物に感動します。

初任者研修について

職場には自分以外に初任者がいないので、初任者研修では自分と同じ1年目の先生がたくさんいて、学校や授業のことを話したり、普段は話せないお互いの悩みを話したりすることができます。研修に参加すると、がんばるぞ、と毎回前向きな気持ちになって学校に戻ってくることができます。



西山 智貴 教諭

お勧めの教採対策

先生を目指す仲間と一緒にがんばれることが大きな支えになりました。面接対策では、質問を出し合ったり、伝え方を確認したりしながら進めました。同じ道を目指す仲間だからこそ、分からないことや不安なことは一緒に相談し合え、時には息抜きをしながら、楽しく前向きに取り組むことができました。

先生になってよかった瞬間

子どもたちが本当にかわいくて「先生!」と声をかけてくれることが毎日の大きな喜びです。日々の関わりの中で、子どもたちの成長を誰よりも近くで感じることができ、それが毎日楽しくて嬉しいです。昨日までできなかったことが、できるようになっていく様子を見ることができるのも先生という仕事ならではの魅力だと感じます。



中本 羽音 教諭

授業を考える上で難しいと感じること

初めて問題に向き合う子どもたちに、どうすれば分かりやすくつたえられるのかを考えることが難しいと感じます。同じ教科を担当する先生方に相談したり、授業を見せていただいたりする中で、分かりやすい話し方、図の使い方、板書の工夫などを学んでいます。

先生という仕事の魅力

民間企業で働いていた環境と比べると、先生は日常的にコミュニケーションの多い職業なので、職場全体が明るい雰囲気です。先生は大変と言われますが、子どもたちと話している時間等は仕事であることすら忘れるくらいあっという間に過ぎます。教室も職員室も活気にあふれていてとてもやりがいのある職業だと感じています。



早川 健太郎 教諭

先生になろうと思ったきっかけ

中学校で出会った先生とのやり取りが今につながっています。授業だけでなく、休み時間や部活動など、たくさんの場面で支えてもらいました。何気ない言葉ややり取りが大きな支えになっていたことを感じ、自分もそんな先生に憧れ、子どもたちの力となれる存在になりたいと思うようになりました。

子どもたちと過ごしていて楽しい時間

1つに決めるのは難しいくらい子どもたちと過ごすどの時間も楽しいです。「そうじゃない!」と表情や声で伝えることもあります、「じゃあこうする?」と新たな提案をすると笑顔で受け入れることがあります。どうすれば子どもたちが楽しく学校生活を送ることができるかを考える時間すら楽しい時間です。それくらい子どもたちはとてもかわいい存在です。



高松 千聖 教諭